

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年1月19日)

[件名]

- 1 鳥取県地域防災計画（原子力災害対策編）及び鳥取県広域住民  
避難計画（島根原子力発電所事故対応）の修正について  

（原子力安全対策課） … 1
- 2 小型無人飛行機（ドローン）の運用開始について  

（原子力安全対策課） … 2
- 3 平成29年鳥取県消防防災ヘリコプターの運航状況について  

（消防防災課） … 3
- 4 平成29年度鳥取県消防関係表彰式及び平成29年度鳥取県  
消防大会・研修会の開催について  

（消防防災課） … 4

危機管理局



鳥取県地域防災計画（原子力災害対策編）及び鳥取県広域住民避難計画（島根原子力発電所事故対応）の修正について

平成30年1月19日  
原子力安全対策課

原子力防災施設及び資機材の整備、原子力防災訓練による知見等を反映し、鳥取県地域防災計画（原子力災害対策編）、広域住民避難計画を一層充実するため、新たな事項の追加、改善、細部の明確化などの修正を行います。

1 鳥取県地域防災計画（原子力災害対策編）の主な修正項目等

(1) 原子力防災施設・資機材の整備を通じた体制の充実

- ・モニタリング体制の強化（原子力環境センターの整備、緊急時放射線モニタリング情報共有・公表システムの追加整備に伴うモニタリング結果の集約・共有及び公表の迅速化）
- ・安定ヨウ素剤のUPZ内の希望者への事前配付の実施（H29）
- ・バス等乗務員用の防護資機材整備に伴う安全確保（放射線管理）手順（H27～29）
- ・フッ化水素検知器の整備に伴う人形峠環境技術センターでのフッ化水素対応（H28～29）

(2) 原子力防災訓練等を通じた見直し

- ・オペレーション支援システムの整備による迅速な避難用車両の配車等（H29）
- ・原子力防災アプリによる情報伝達（空間放射線量、避難所等）（H29）
- ・ドローン（小型無人飛行機）による避難実施状況の情報収集（H28～29）
- ・実動機関現地合同調整所を琴浦大山警察所に設置（広域的な避難を支援）（H29）
- ・避難退域時検査資機材の標準化とコンテナでの一括管理、車両除染時の洗浄水の飛散防止（H28～29）
- ・県ホームページ等で情報伝達する際の、外国語への自動翻訳を前提とした平易でわかりやすい日本語の使用及び音声読み上げ機能による視覚障がい者等への情報伝達、新聞による広報（H27～29）

(3) 防災体制の強化

- ・放射線防護対策施設等での食糧、燃料等の備蓄及び不足する場合の補給（H27～H28）
- ・車両除染等で発生した廃棄物の原子力事業者による回収（H29）
- ・中国5県バス、ハイヤータクシー協会との協定に基づく避難車両の確保等（H29）

(4) 国の制度見直し等（原子力災害対策指針の改正等）の反映

- ・原子力災害医療体制の見直し（原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関の指定）（H27）
- ・島根原子力発電所1号機の廃止措置作業における安全確保（H29）
- ・人形峠環境技術センターの原子力災害対策重点区域等に係る見直し（H28～29）

2 鳥取県広域住民避難計画（島根原子力発電所事故対応）の主な修正項目等

- ・補完的避難手段である鉄路、海路、空路の特性と使用する場合の条件等
- ・オペレーション支援システムを活用し、輸送計画表及びバス等の運行指示書を作成すること
- ・避難車両の協定等に基づく具体的な要請要領
- ・避難退域時検査の具体的な実施要領
- ・広域的避難に係る交通規制
- ・その他、地域防災計画に記載した事項について、実施面からの具体的な事項を記載

3 今後のスケジュール

- |         |   |
|---------|---|
| 1月19日以降 | パブリックコメントの実施<br>鳥取県原子力安全顧問会議において修正案に対する意見聴取 |
| 3月下旬    | 鳥取県防災会議において審議                               |
| 5月      | 印刷・配布                                       |

## 小型無人飛行機（ドローン）の運用開始について

平成30年1月19日

原子力安全対策課

原子力災害時等において、避難経路の使用可否の把握、住民の捜索等を行うため、今年度新たに小型無人飛行機（ドローン）を整備しました。

また、ドローンの操作、撮影映像の伝送等の手順などを確認する訓練を県林業試験場で実施し、ドローンの運用を開始しました。

### 1 ドローンの概要

#### (1) 整備目的

原子力災害時において、情報収集等（避難経路の使用可否の把握、住民の捜索等）を行うことを目的として整備を行った。

なお、ドローンについては、これまでの原子力防災訓練において情報収集訓練を行い、その有効性が確認できたことから、今回、導入したものを。

#### (2) 運用方法

ドローンの運用実績があり、操縦技能を有する職員が在籍している林業試験場に配備して、平時の機体管理及び操縦技能の維持・向上、操縦者の育成及び運用の向上検討を行う。

災害時は災害対策本部等からの指示により、林業試験場から機体及び操縦者を現地へ派遣し、情報収集を行う。

#### (3) 機体概要

機種：MATRICE 200series M200

最大速度：約60km/h

製造：DJI社

最大飛行時間：27分



### 2 ドローン飛行訓練

(1) 実施日時 1月17日（水）午後2時から3時

(2) 実施場所 鳥取県林業試験場（鳥取市河原町稲常113番地）

（県林業試験場敷地周辺を国道431号及び住宅街と見立てて訓練を実施）。

#### (3) 訓練内容

- ・ドローンによる道路及び建物状況の確認
- ・ドローンで撮影した映像を県緊急事態対処センター（県庁）へ伝送するとともに、現地でも確認する

#### (4) 実施機関等

ア 実施機関

鳥取県（原子力安全対策課、林業試験場）、鳥取県警察本部

イ 訓練参加者

約10名

#### (5) 訓練成果

- ・ドローンの飛行準備から飛行及び映像伝送までの一連の手順が確認できた
- ・少雨の環境下でもドローンを運用できることが確認できた



# 平成29年鳥取県消防防災ヘリコプターの運航状況について

平成30年1月19日  
消防防災課

平成29年の鳥取県消防防災ヘリコプター「だいせん」（機種：AW139）の運航件数は、緊急運航126件（前年136件）、通常運航185件（前年143件）、合計311件（同279件）でした。  
なお、緊急運航のうち、最も件数が多いのは救急活動の59件（前年66件）で、次に救助活動の42件（前年40件）です。

## 1 平成29年運航件数

区分	本年 件数	前年 件数	主な活動内容	
緊急運航	災害応急対策	9	8	1月26日、9月29日 鳥取県中部地震の被害調査（2回）を実施 1月26日～3月1日 大雪の被害調査（6回）を実施 9月18日 台風第18号の被害調査
	火災防御	5	6	4月30日 国府町地内林野火災に対し、空中消火（散水3回）を実施
	救急	59	66	2月28日 大山スキー場で負傷した傷病者の救急搬送を実施 3月6日 鳥取市立病院から榊原病院（岡山市）までの転院搬送を実施 3月13日 県立中央病院から鳥取大学医学部附属病院までの転院搬送を実施 5月11日 博愛病院から三重大学医学部附属病院への転院搬送を実施 6月28日 鳥大医学部附属病院から京大医学部附属病院への転院搬送を実施
	救助	42	40	1月29日 氷ノ山スキー場で発生したけが人を吊上げ救助し、救急隊に引継ぎ 3月14日 大山三結峰で発生したけが人を吊上げ救助し、救急隊に引継ぎ 5月1日 関金町山林で発生したけが人を吊上げ救助し、救急隊に引継ぎ 7月31日 鳥取砂丘馬の背で発生した急病人を吊上げ救助し、救急隊に引継ぎ 8月13日 井出ヶ浜海水浴場で発生した溺者を吊上げ救助し、救急隊に引継ぎ
	広域航空応援	11	16	5月7日 船通山（島根県）で発生した急病人を吊り上げ救助し、救急隊に引継ぎ 7月5日 【島根県西部豪雨災害】ヘリテレによる益田市内の情報収集活動 7月5日 【島根県西部豪雨災害】益田市金山町（孤立集落の住民を吊上げ救助） 7月5日 【島根県西部豪雨災害】浜田市金城町（孤立集落の住民を吊上げ救助）
緊急運航 計	126	136		
通常運航	災害予防対策	0	0	
	消防防災訓練	28	23	9月1日 徳島県総合防災訓練への参加 9月2日 岡山県消防防災航空隊合同訓練 県内3消防本部との合同訓練（年間計24回）
	自・隊訓練	101	88	救助、救急及び消火活動訓練、ヘリテレ電送訓練、計器飛行訓練他
	一般行政	14	8	海岸・河川・道路・森林の現況調査他
	その他	42	24	機長養成訓練、機体整備点検後のテスト飛行など
通常運航 計	185	143		
合計	311	279		

（注）機体の整備点検等に係る年間（H29）の運航休止日数は102日。

＜運航休止の主な理由＞

- ・耐空検査（車の車検に相当し、機体・エンジン・装備品など全般にわたり1年に1回検査を実施するもの。1年期限の耐空証明書が発行される。）等整備によるもの（6・7日）
- ・飛行時間に応じた定期点検（前回の点検から25時間、50時間、100時間、300時間など一定の飛行時間を経過する前に点検するもの。）等によるもの（31日）
- ・その他、部品交換整備等によるもの（4日）

## 2 緊急運航の推移（平成20年～平成29年）

緊急運航種別	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
災害応急対策	4	3	0	7	3	5	4	1	8	9
火災防御	3	11	3	6	4	6	12	12	6	5
救急	57	52	55	34	69	57	40	71	66	59
救助	48	32	33	13	57	39	36	47	40	42
広域航空応援	13	14	13	54	0	12	10	15	16	11
合計	125	112	104	114	133	119	102	146	136	126

## 平成 29 年度鳥取県消防関係表彰式及び平成 29 年度鳥取県消防大会・研修会の開催について

平成 30 年 1 月 19 日

消 防 防 災 課

平成 29 年度鳥取県消防関係表彰式を開催し、消防団員の確保や人命救助を行うなど、本県の消防に特に功労が認められる消防団・団員及び消防職員等を表彰します。

また、鳥取県中部地震の教訓を踏まえ、消防団の活動発表及び消防団と自主防災組織の連携に関する講演を行う平成 29 年度鳥取県消防大会・研修会が開催されます。

### <鳥取県消防関係表彰式の概要>

1. 日 時 平成 30 年 2 月 17 日 (土) 11:00～11:50
2. 場 所 鳥取市人権交流プラザ 3 階 大ホール (鳥取市幸町 151 番地)
3. 主 催 鳥取県、公益財団法人 鳥取県消防協会
4. 来賓 (予定) 鳥取県議会議長  
鳥取市長会会長  
鳥取県町村会会長  
鳥取県消防桜美会会長
5. 参加者 消防団長ほか消防団員、各消防局長ほか消防職員等
6. 表彰内容 鳥取県知事表彰  
表彰旗、竿頭綬、功労章、功績章、  
消防団活性化推進表彰 (地域防災力向上表彰、緊急時対応表彰)  
鳥取県消防協会長表彰  
竿頭綬、功績章、特別功績章、功労章、勤続章、特行表彰、  
自治体消防制度 70 周年記念表彰 (家族表彰)

### <消防大会・研修会の概要>

1. 日 時 平成 30 年 2 月 17 日 (土) 13:15～16:45
2. 場 所 鳥取市人権交流プラザ 3 階 大ホール (鳥取市幸町 151 番地)
3. 主 催 公益財団法人 鳥取県消防協会
4. 来賓 (予定) 鳥取県知事  
鳥取県消防桜美会会長
5. 参加者 消防団員、消防職員、自主防災組織ほか地域住民、県・市町村職員等
6. 内容

#### (1) 報告

鳥取県、公益財団法人鳥取県消防協会

#### (2) 発表

鳥取市消防団女性分団

防災寸劇 仮題「鳥取砂丘で熱中症」

倉吉市総務部防災安全課 吉川仁彦課長

仮題「鳥取県中部地震における行政の対応と今後の課題について」

#### (3) 講演

仮題「消防団と自主防災組織との連携のあり方について」

講師：後藤一蔵氏 (東北福祉大学兼任講師、消防庁消防団員確保アドバイザー)

<後藤一蔵氏 HP より抜粋>

消防団と自主防災組織は、経糸 (たて糸) と緯糸 (よこ糸) の関係にある。災害が発生すると、当該地域の住民の動きが決定的な意味を持つ。全ての地域社会は、その自然条件や社会条件により、災害の様相は異なる。そのためにも、日常からの防災訓練は欠かせない。防災訓練は、「自分たちの地域社会の実態を知ることである。」と言われるのは、まさにこのことである。いつも同じメニューで防災訓練をすると、「飽き」がきて参加者も減少する。食事の献立と同じように、防災訓練のメニューをどのようにするかが、防災訓練の継続性と関係する。そのためにも、地域住民の様々なアイデアをできるだけ反映させるような工夫が重要である。